

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 7月 25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘13
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
関西ベストフーズ株式会社 代表取締役社長
内田真帆子 (代理人)若井春孝
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	関西ベストフーズ株式会社 代表取締役社長 秋葉裕樹
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町さつきが丘13

1 事業所の概要

事業所の名称	関西ベストフーズ株式会社					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町さつきが丘13					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	5	※ 産業分類・細分類名称を記載 冷凍調理食品製造業
事業の概要	冷凍調理食品(主にハンバーグ)の製造					
従業員の数	150	人	作業時間	24 (製造18時間 掃除6時間)	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	台	照明設備
	コンプレッサ	2	台	空気調和設備	台	その他 55kw冷凍機5台 65kw冷凍機2台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2027	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち〔関西ベストフーズ株式会社〕は「食品の製造及び販売活動による環境に与える負荷を最小にするために、環境法規則を遵守するとともに、改善活動を積極的に取り組む」という日東ベストグループの企業理念のもと、製造業として環境に配慮した製品の提供に努めてまいります。

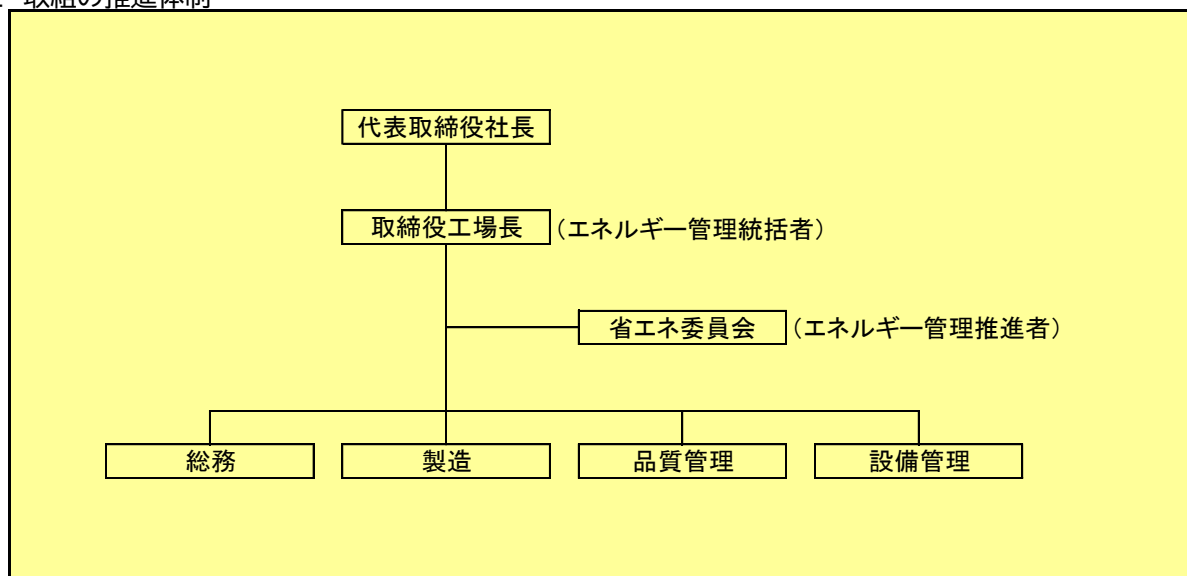
同時に私たち〔関西ベストフーズ株式会社〕は、地域に根ざした環境保全活動を通じて地域の方々とのパートナーシップを育み、各事業所を拠点として低炭素社会の構築に寄与していきます。

1.事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境の保全と汚染の予防に取り組みます。

- ①省エネルギー・省資源を推進します。
- ②廃棄物の減量化及び再生利用を推進します。
- ③環境に配慮した物品の購入を推進します。
- ④環境配慮製品の開発と販売を促進します。
- ⑤環境美化運動と啓蒙活動を推進します。

2.事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入については、平成20年度から計画的に積極的に行っている。

- ・外包装室EHPエアコン更新「15年経過機種」(2020年)
- ・GHPエアコンNo.1・3系統更新「12年経過機種」(2020年)
- ・GHPエアコンNo.4系統更新「11年経過機種」(2019年)
- ・食堂エアコン更新「29年経過機種」(2019年)
- ・資材計量室エアコン更新「25年経過機種」(2019年)
- ・GHPエアコンNo.2系統更新「10年経過機種」(2018年)
- ・小型貫流ボイラー(2t)を潜熱回収貫流ボイラー(2t)に更新(2018年)
- ・ボイラー2基を炉筒煙管ボイラーから潜熱回収貫流ボイラー(2t)・小型貫流ボイラー(3t)に更新
 - ・冷凍機フィンの入り口へ散水することによる消費電力の削減
- ・事務所エリアのHf蛍光灯の全面導入
- ・工場内エリアのHf蛍光灯の一部導入
- ・蛍光灯スイッチをエリア一括スイッチから個別スイッチに変更
- ・事務用機器の不要時の電源遮断及び省電力モードの利用
- ・ミートボール用フライヤーを高効率フライヤーに更新
- ・炉筒煙管ボイラー2基を小型貫流ボイラー・潜熱回収貫流ボイラーに更新(2015年)
 - ・省エネ法に基づくエネルギー原単位1%削減目標

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場全エリアの照明LED化	2022年度～	85%実施済 24年度工事予定有
2	設備導入	GHP空調機5系統を高効率機へ更新	2023年度～	23年5月1系統更新実施済 6系統中5系統の更新を完了
3	設備導入	Bライン冷凍機、焼成ライン更新による製造ライン高効率化	2024年度	更新へ向けて取り組み中
4	運用改善	ボイラー、コンプレッサーを生産内容に合わせて運転時間短縮	2023年度～	実施中
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		原料冷凍庫、冷蔵庫をR22冷凍機からCO2冷凍機へ更新	2022年度	22年度実施済
2		BラインフリーザーR222冷凍機を自然冷媒冷凍機へ更新	24年度	更新へ向けて取り組み中
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
上記取組等により、令和3年度を基準年度として以下の数値目標の達成を目指します 原単位 温室効果ガス排出量÷生産量 毎年1%削 温室効果ガスの排出量は生産量に左右されるため、原単位指標を生産量に設定 削減効果を評価するため、電力のCO2排出係数(電力原単位)は計画基準年度(R3年度)の計数に固定		R3年度実績 3563(温室効果ガス発生量) ÷5633t(生産量)=0.63 R4年度実績 3596(温室効果ガス発生量) ÷6175t(生産量)=0.58 7パーセント削減している

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(22)年度	(23)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,047	2,180	2,065			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,563	3,596	3,577			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,563	3,596	3,577			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	親会社である日東ベスト(株)山形工場にて太陽光発電設備の設置を検討しています。当社としても今後再生可能エネルギー設備の導入を検討していきますが、まずは本社の状況を見ながらとなるため今のところ本計画期間である5年以内での導入の目途は立っていません。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
冷凍食品生産を通じた低炭素社会づくりへの貢献 関西ベストフーズでは、主にハンバーグ、ミートボール等の冷凍食品の生産を行っています。 冷凍食品は、自然界解凍や電子レンジでの解凍・過熱、煮沸解凍により少ないエネルギーでお客様が食する状態にできます。 家庭や事業者で使用するときは材料から作り出すよりも、二酸化炭素排出を伴う電力、ガスの使用量を削減することが可能です。 このことを通じて温室効果ガス排出削減に貢献するものです。 本期間において、冷凍食品を社会に供給することにより低炭素社会づくりを推進していきます。	順調に実施している商品 開発においてユーザーでの調理時間短縮に取り組んでおり、更なる貢献が出来ると考えております。
	CO ₂ 削減貢献量
	6,529.9 t-CO2

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
目標：当工場で生産している主力製品の冷凍ハンバーグ、ミートボールを飲食業者や家庭で使用されることにより計画期間5年間で累計28,888tの二酸化炭素排出削減に貢献する。(年間生産量を5,500t見込)
考え方：貢献量は、材料からハンバーグを調理し口にするまでに発生しうるCO ₂ 量と当社生産冷凍ハンバーグを利用者が購入し口にするまでに発生するCO ₂ 量の差で算定結果を用いることとした。 なお、計画期間の工場総生産量(全てハンバーグに置き換え)で比較するものとする。
貢献度の算定方法 ・材料から口にするまでに発生しうるCO ₂ 量－冷凍ハンバーグを利用者が購入し口にするまでに排出したCO ₂ 量(t-CO ₂) ・材料から口にするまでに発生しうるCO ₂ 量＝(使用水の持つ発生CO ₂ 量＋加熱に必要なLNGによる発生CO ₂ 量＋廃棄ゴミの発生CO ₂ 量) ・材料から口にするまでに発生しうるCO ₂ 量1238kg-CO ₂ /t 冷凍ハンバーグを利用者が購入し口にするまでに排出するCO ₂ 量 187.5kg-CO ₂ /t

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
生産量(販売量)が見込より増加したため、削減効果も増加したと考えられる
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
(2)の通り

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	自転車通勤の 奨励	自転車利用の啓発活動を行っている 駐輪場を設けている	実施中	実施中
2	出張時の公共 交通機関利用 の促進	出張は可能な限り公共交通機関での移動を行うよう指示 をしている	実施中	実施中
3	物流の合理化	本社販売部、原料サプライヤーと連携し、輸送トラックの 空きスペースを減らすよう努めている	実施中	実施中

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(22)年度	(23)年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	2	2	2			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台						
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1		「花いっぱい委員会」等の活動により、敷地内の緑化、維 持活動を行っている	実施中	23年度4回活動を実 施した
2		食品由来の廃棄物の100%飼料、堆肥化を維持する	実施中	23年度計画通り実施
3		廃棄物の分別を行い再資源化を促進し、リサイクル率を 90%以上にする	実施中	23年度計画通り実施
4				
5				